

「講師 60 人から見た日本の産業」  
---経友会講座 5 年の軌跡---

1. はじめに・・・経友会とは

1999 年、経済学部創立 50 周年記念シンポジウムを機に、21 世紀への学部活性化をめざし開設

1) 設立の趣旨

- ・経友会会員が実学の講師をする
- ・商人の大学としてベンチャー育成、都市型大学として海外の大学と国際交流(単位交換)
- ・相互のグレードアップ、会員のビジネスネットワーク構築
- ・大学からの「経友会講座」要請(学生と卒業生との靱帯、愛校精神)

2) 目的

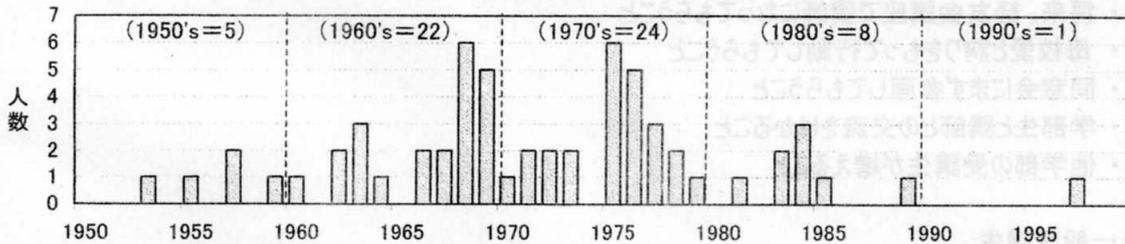
- ・経友会存続の中核的活動となりうるもの
- ・学部活性化の起爆剤(記念講座の体験から)
- ・学生と卒業生を結ぶ橋渡し役(相互のメリットとグレードアップ・母校愛)
- ・OB産業人のビジネスネットワーク

(出所:2005-10-6 経友会講座 1①レジメ)

2. 講師 60 人から見た日本の産業

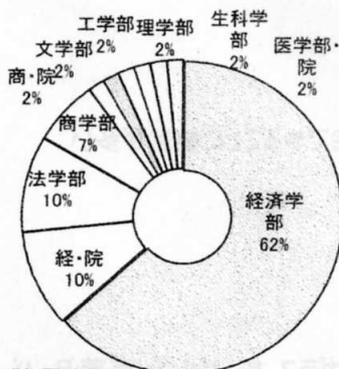
1) 講師のプロフィールと視点(図 1~4、表 1、2)

図1 講師60人の学部卒業年次



出所:大阪市立大学公開授業 経済学部企画講座  
(経友会講座)平成17年度~21年度)

図2 出身学部



出所:図1と同じ

図3 現職

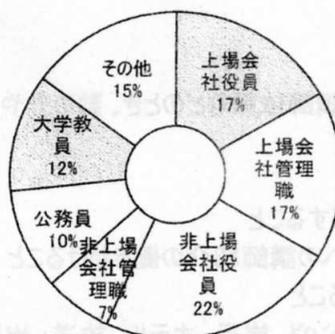
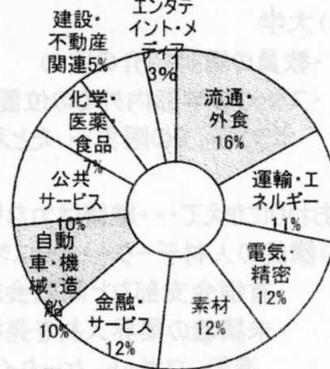


図4 業種



出所:表1と同じ

2) 業種別の動向・・・今年度講義した業種を中心に(パワーポイントにより説明)

### 3. 経友会講座の成果

#### 1) 学生(聴講生含む):履修人数と出席数(図3, 4 参照)

- ・各業界で働く先輩から直接「生の話」が聞け、職業選択の一助になったこと

図3 履修者の推移(2005~09年度)  
累計3,811名(学生3,605 聴講生206)

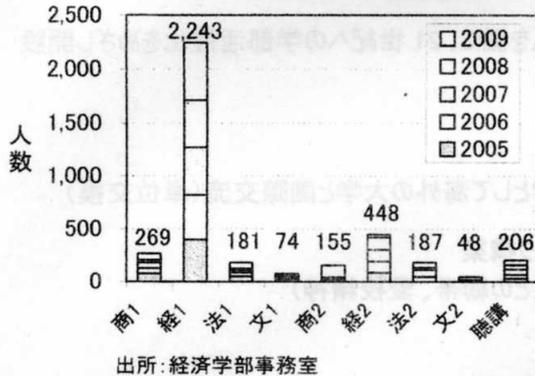
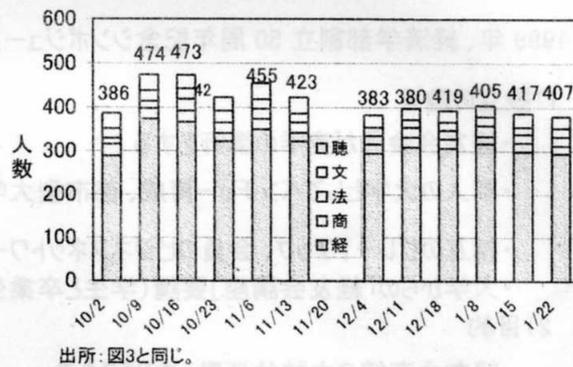


図4 出席カーと提出者(2008年度)



#### 2) 大学(経済学部および他学部)

- ・学長はじめ経済学部教員と経友会との信頼関係が深まったこと
- ・文科省・学術振興会の「大学推進プログラム採択」の一助と経友会の協力体制ができたこと
- ・経済学部の取り組み・・・「4年一貫の演習と論文指導が育む学士力」(2009/10~12/3)

#### 3) 経友会・・・認知されたこと

#### 4) 講師・・・母校の教壇に立って喜んでもらえたこと

### 4. 私の5年間の想いとお願い

#### 1) 現役受講生・・・母校回帰を!! 「鮭や海ガメ」は、母川や母浜に回帰する

- ・将来、経友会講座で講師になってもらうこと
- ・母校愛と誇りをもって行動してもらうこと
- ・同窓会にまず参画してもらうこと
- ・学部生と講師との交流をはかること
- ・他学部の受講生が増えること

#### 2) 一般聴講生

- ・市大の良さをわかってもらうこと
- ・継続して参加してもらうこと

#### 3) 大学

- ・教員の講師紹介の協力
- ・スタッフの学部内外での位置づけ
- ・ボランティアの限界・・・たとえば、講師依頼などのとき、勤め先や自宅でやることに制約が多い

#### 5. おわりにかえて・・・継続は力なり

##### 1) 講師の人材データベースを構築すること

- ・有恒会支部など同窓会組織への講師紹介の働きかけること
- ・未講義の業界人材を発掘すること

造船、ロボット、ケータイコンテンツ、旅行、ホテル、放送、出版、ガラス、紙・パルプ、医薬品・バイオ、空運、石油、メガバンク、証券、損保、人材サービス、介護サービス、元気なベンチャー企業など(日経業界地図 2009年版から)

##### 2) 講師との交流をはかること

##### 3) スタッフ(担当委員)の拡充と世代交代をはかること

表1 講師の出身業種別一覧表

2010/1/28 竹内淳一郎

業種	講座	テーマ	講師氏名	卒業年	学部・院	出身企業・役所	職位 (講義時)	社名	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	従業員 (人)
流通・ 外食 ⑩	306	国際貿易と不死鳥商社の役割	高田 誠一	1968	経	京義倉庫	代取・社長	三井物産	170,090	4,101	42,621
	508	総合商社のビジネスモデル	吉川 正男	1960	経	立命館アジア太平洋大学 元・丸紅	講師	丸 紅	106,316	1,472	32,208
	502	時代への対応に変化を続ける総合商社	藤井 吉郎	2003	商・社院	大阪市大 元・住友商事	特別研究員	住友商事	114,845	4,101	42,621
	301	世界鉄鋼業の再編	古川 弘成	1969	経	阪和興業	専務	阪和興業	15,393	174	1,818
	403	新・国家エネルギー戦略(新戦略)	三木田裕彦	1981	経	岩谷産業	部長	岩谷産業	7,490	184	7,701
	411	化学品商社におけるビジネスモデルについて	河合 志郎	1976	経	交洋貿易	次長	交洋貿易	372		90
	406	町の自転車屋から世界企業へ	下田 富昭	1966	経	あさひ	会長	あさひ	216	26	674
	509	日本的経営の源流	塚本喜左衛門	1971	経	塚喜商事(株)	社長	塚喜商事	80		285
	408	国際物流の発展と情報通信技術(ICT)	周 人英	2002	経・院	三統	室長	三統	40		95
	111	小売業の業態・進化論	島村 幸光	1998	経・社院	am pm・関西 元・イー・エム・ピー・エム・近鉄(am pm)	代表	am pm・関西 近鉄百貨店	232 3,004		71 4,138
	211	百貨店業態の構造分析から見る課題									
電気・ 精密 ⑦	110	エレクトロニクス多国籍企業の産業再編	高田 雄司	1997	経・社院	福山大学 元・松下電器	教授				
	413	北欧の世界を読む						パナソニック	90,689	5,195	305,828
	303	日本のエレクトロニクス企業におけるグローバル化の進展	土井 純三	1969	経	大阪市立大学 元・松下電器	理事				
	304	東芝の海外事業への取組み	小林 俊介	1969	法	東芝	執行役常務	東芝	76,681	2,381	197,718
	402	高騰する資源・国際資源循環/中国の循環経済	平田 郁之	1964	理	グリーンラボ 元・三菱電機	代表	三菱電機	40,498	2,672	105,651
	103	情報産業の発展過程と現状及び将来の課題	辻本 敏彦	1968	経	ピーターキュー 元・東芝情報機器	代取・社長	東芝情報機器	1,027		1,189
	204	IT産業の変遷と現状	藤井 清治	1983	経	日本アイ・ピー・エム	次長	日本アイ・ピー・エム	11,926	1,540	16,111
102	日本製カメラの競争優位の構築										
313	日本のカメラ産業と海外市場開発	竹内淳一郎	1997	経・社院	日本大学 元・ミノルタ	共同研究員	コニカミノルタHD	10,716	1,196	31,717	
513	講師60人から見た日本の産業										
素材 ⑦	206	日本鉄鋼業の現状と課題	安藤 清	1968	経	神鋼ポルト 元・神戸製鋼	代取・社長	神戸製鋼	21,324	2,024	33,657
	106	鉄鋼業の現況と今後の課題	橋本 純	1975	経	住友金属パイプエンジニア 元・住金	部長	住友金属工業	17,446	2,744	24,185
	309	ロシアの鉄鋼業	荻野 和己	1999	経・社院	元・大阪大学(工 冶金)	名誉教授				
	307	包装産業 -日本vs世界-	石高 康治	1968	経	東罐マテリアル・テク 元・東洋製罐	代取・社長	東洋製罐	7,455	214	17,016
	112	繊維産業の変遷について	高木 健次	1955	経	高木経営研究所 元・呉羽紡績	代表	東洋紡	3,414	270	10,696
	311	BRICsの中のBRAS(Z)ILの実力とその魅力	室 元明	1966	経	ポンドリーム 元・クラボウ	代取・社長	クラボウ	1,655	47	5,392
	312	日本の繊維産業の変遷	佐藤 一良	1967	経	ダイヤモンド電機 元・蝶理	次長	ダイヤモンド電機	319	0.4	829
運輸・ エネルギー ⑦	308	国際物流とパラダイム	篠原 正人	1973	経	東海大学 元・商船三井	教授	商船三井	19,457	2,913	9,626
	503	日本のコンテナ港湾の国際競争力と今後のあり方	森 隆行	1975	商	流通科学大学 元・商船三井	教授				
	107	日本の港湾制度とその課題	有田 正文	1975	経	大阪市役所 元・港湾局	部長				
	109	関西私鉄の模索	斉藤 敏宣	1976	経	スカイ・コナ 元・京阪電鉄	代表取締役	京阪電鉄	2,620	174	7,485
	101	戦後日本の産業と経営の変遷	久保 勇 経	1957	経	KBS総研 元・南海電鉄	代表取締役	南海電鉄	1,883	289	7,507
	104	環境問題の現状と企業の取り組み	渡部 徳博	1976	経	大阪ガス	マネージャー	大阪ガス	12,381	758	19,287
	203	電気事業経営の現状と今後の課題	浅田 利晴	1984	経	関西電力	マネージャー	関西電力	26,893	1,524	31,121
		合計						764,462	34,036	957,337	

注1: 講座欄100, 200, 500番台は、産業経済論特殊講義。300, 400番台は、国際経済論特殊講義。

注2: 銀行の売上高、営業利益は、経常収益・経常利益。日本生命の売上高は、収入保険料。

出所: 『大阪市立大学公開授業 経済学部企画講座(経友会講座)2005年度~2009年度』案内チラシ。経友会講座レジュメ。

『日経業界地図2009年版』、『日経系社情報2010 I 新春号』。各社ホームページほか。

表2 講師の出身業種別一覧表

'2010/1/28 竹内淳一郎

業種	講座	テーマ	講師氏名	卒業年	学部(科)	出身企業・役所	職位 (講義時)	社名	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	従業員 (人)
金融・サービス	310	海外での企業経営…銀行員からの眼…	田仲 勇一郎	1971	経	尾家産業(株) 元・第一勧業銀行	常務	みずほHD	45,235	3,971	31,095
	108	金融改革と銀行の変遷	澤田 哲生	1976	経	トア元・大和銀行	常務	りそなHD	11,144	2,337	17,072
	201	新しい金融サービス…実務者からの視点…	梶原 健司	1968	経	オリックス(株)	執行・副社長	オリックス	11,540	1,892	18,348
	209	日本の生命保険事業の現状と今後の展望	正殿 博章	1975	法	日本生命保険相互会社	取締役	日本生命	270,221		53,336
	410	コンサルティングビジネスから見た企業の国際化戦略	宮本 市三	1978	経	インテリオンLLP 元・山一証券	共同代表				
	504	企業倒産の実態と与信管理の基本	坂本 昌彦	1962	法	マネジメント・コンサルタント 元・蝶理	コンサルタント				
	506	女性の視点のベンチャービジネス	上田理恵子	1984	生	マザーネット	代表取締役	マザーネット	1		60
自動車・船舶・機械	202	日本の自動車産業	藤井 一彦	1975	経	トヨタ自動車	部長	トヨタ自動車	262,892	22,704	316,121
	105	自動車産業における軽自動車の果たした役割と今後の展望	面田 眞一	1968	経	ダイハツ工業	理事	ダイハツ工業	17,026	652	37,165
	302	日本の軽自動車とアジアの軽ベーススモールカー	大石弘之	1975	文	ダイハツ工業	理事				
	401	コマツの経営構造改革	坂根 正弘	1963	工	小松製作所	代取・会長	小松製作所	22,430	3,329	39,267
	405	クボタの海外事業って何をやってんのかな?	清水 孝司	1978	商	クボタ	工場長	クボタ	11,075	1,028	25,173
	404	鉄道車両事業の海外展開	矢辺 幸平	1970	経	近畿車輛	常務	近畿車輛	492	64	954
公共サービス	207	最近の日中ビジネス動向	松崎 征弘	2003	経・社院	日中経済協会	事務局長				
	211	大阪の労働事情	山本 晃子	1976	経	堺労働基準監督署	次長				
	212	陽はまた西から昇るか	東 昭司	1967	経	国際花と緑の博覧会記念協会	審議役				
	213	大阪の活力ー変貌と再生への道ー	山幡 一雄	1963	経	元・大阪市役所	(元・局長)				41,213
	412	グローバル時代を生き抜く“地方都市大阪”の戦略と展望	中野 亮一	1985	法	大阪商工会議所	課長				
	510	医院経営からみた医療の現状	武田 正	1984	医・院	武田内科クリニック	院長				
薬化・学食・品医	505	タイヤは空気と“いい関係”	長田 和明	1977	経	東洋ゴム工業	グループ長	東洋ゴム工業	3,572	132	7,248
	407	塗料業界の現状と課題	三村 昭	1979	法	日本ペイント	部長	日本ペイント	2,396	31	5,980
	305	やってみなはれーサントリー挑戦の歴史ー	岡村 美孝	1973	経	サントリー	取締役	サントリー	14,948	753	20,790
	409	ロングセラーブランド政策	細川 隆夫	1977	法	江崎グリコ	執行役員	江崎グリコ	2,787	43	4,553
④動建産設関・連不	501	ゼネコン業界の実情と不動産の基礎知識	山野 正樹	1983	商	大林組	部長	大林組	16,916	287	15,088
	205	プレハブ住宅産業の変遷と今後の課題	福田 利夫	1977	経	積水ハウス	部長	積水ハウス	15,978	1,097	22,309
	208	不動産業におけるビジネスモデルの変遷について	池内 敬	1989	商	東急不動産	課長	東急不動産	6,334	821	15,856
	512	ビル経営とまちづくり	牧野 忠廣	1969	経	大阪ビルディング協会 元・大阪ガス	事務局長				
②デトテイ・インアメメン	507	ビジネスとしてのバス事業	森口 明好	1972	経	三重交通	代取・社長	三重交通	1,135	4	3,887
	511	新聞の過去と未来	青木 耕治	1969	経	元・朝日新聞	(元・記者)	朝日新聞	5,729		9,325
		合計						721,851	39,145	684,840	
		総計						1,486,313	73,181	1,642,177	

注1:講座欄100, 200, 500番台は、産業経済論特殊講義。300, 400番台は、国際経済論特殊講義。

注2:銀行の売上高、営業利益は、経常収益・経常利益。日本生命の売上高は、収入保険料。

出所:『大阪市立大学公開授業 経済学部企画講座(経友会講座)2005年度~2009年度』案内チラシ。経友会講座レジメ。

『日経業界地図2009年版』、『日系会社情報2010 I 新春号』。各社ホームページほか。